

政務活動費活動実績報告書

件 名	地方議員研究会「地方創成 SDG s」特別講座
使 途	1 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金 額	74,990円
期 日	令和4年10月27日(木)
場 所	大阪市東淀川区東中島1-18-22 新大阪丸ビル別館
目 的	アフターコロナを見据え、SDG sとは何か、目標と細目、ターゲットを押さえ、自治体政策との関係性、そして地方創成とSDG sの考え方について学ぶ。併せてSDG sの本質を理解するために、2030SDG sのシュミレーションゲームによってあるべき未来を考える。
受 講 者	田中 栄一
概 要	地方議員研究会「地方創成 SDG s」特別講座 ① SDG sの基礎知識 10時～12時30分 ② SDG sカードゲーム体験 14時～16時30分 講 師：(株) グローバルダイナミクス 代表取締役 山中 俊之氏 ・東京大学法学部卒後、ケンブリッジ大学修士 ・大阪大学国際公共政策博士 ・外務省にて対中東外交、地球環境問題等を担当後 ・日本総研にて人事、人材開発コンサルタント。企業、団体のコンサルティングや研修に従事。 ・2010年(株) グローバルダイナミクス設立 講義内容 ① SDG sの基礎知識 ▶SDG sの重要性 ▶17の目標について(どう見ていくのか) ▶自治体におけるSDG sは ▶自治体の政策や施策との関係は ② SDG sカードゲーム体験 ▶世界で広がるカードゲーム ▶カードゲームのルール ▶カードゲームでSDG sを体感する ▶カードゲームの振り返り ▶SDG sを自治体に生かすための振り返り
所 感	江戸時代の日本は3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実践しており、SDG sの先駆者であったと講師が言われたが、まさしくその通りであったと納得

するところである。

八女市もSDGsを意識した政策（総合計画など）を作成している？が、既存計画を当てはめているだけではないのか。また市民へのSDGsの浸透度も低いと感じる。市民への啓発をもっと講じるべきではないだろうかなど、下記の点について考えさせられた。

- ・SDGsに配慮した政策立案をしているか？
- ・障がい者に対応した公園等遊具の整備を進める姿勢があるのか？
- ・SDGsに配慮したプラスチックごみ対策をしているか？
- ・世界を視野にしたプレゼンテーション（英語版）を行っているか？
- ・SDGsに配慮した企業を誘致しているか？
- ・真に地域に貢献する企業と協力できているか？
- ・未来都市に応募する予定はあるのか？
- ・市は振り返り検証を行っているか？
- ・見える化を図るためには何が必要か考察しているか？

また、ゲーム体験を通じて感じたことは、社会・教育プロジェクトの難しさと比較して経済活動は取り組みやすいが、何事にも資本が必要であること、協調性が大事であることを学んだ。

総括的に、政治的利害によってSDGsの選択適用がされてはいけないので議会の監視機能を強化する必要もある。そのためにも議会独自でのSDGs議員研修を行う必要があると思う。

今後、議会で政策提言を行う際には、SDGsを基準に考えていくとともに、SDGsの考え方と目標を市民に啓発し、個々が目標達成に向けた行動ができるように努めたい。

特別講座概要

① SDGsの基礎知識

▶SDGsの重要性

SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年9月に、国連が様々な立場の多くの人々へのインタビューを経て、持続可能な開発サミットで「国連全加盟国」によって採択・制定されたもので、2030年に向けた「世界の未来の形」を目標としている。17の目標、169のターゲット、232の指標があるが、この目標を達成するためには、ひとり一人の行動を変えることから始まる。

SDGsは「世界が繋がっている」と「私が起点」がポイントである。

なぜSDGsなのか？

日本は水資源が豊富であるように見えるが、世界では水は希少である。生きるための水さえ無いため、子どもが水汲みの労働を担っている（女性が主）が、そのために初等教育さえも受けられない人たちがいる。ここからジェンダーの不平等へとつながる問題がある。

ひとつひとつの問題が地球上の全ての問題とつながっているし、環境、人権、格差等々、全人類に影響ある放置できない地球的課題である。

浴槽 15 杯分

ハンバーガー1個の牛肉を生産するためには浴槽 15 杯分（3000ℓ）の水を必要とする。加工食品は様々なことで世界とつながっている。コロナも一緒である。自分に関係ないとは言えない。

600 万トンと 300 万トン

日本の食品ロス約 600 万トンに対し世界の食糧支援量は 300 万トン。イエメンでは国民 3000 万人に対して 2000 万人が飢餓状態にある。気候変動難民が問題視されている。

「廃棄物を出さない動き」

- ・ゴミを出さないレストラン=>食材の数を減らす。ラッピングによる延命。肥料化
- ・3010 運動=>30 分会食、最後に 10 分で完食
- ・完食割引=>完食したら割引するレストラン

100 種減少

現在、人類が起因する「第 6 次大量絶滅期」に入りつつあると言われている。150 万超とも言われる種が毎年 100 種ずつ減少、50 年で絶滅の可能性があり地球は非常事態となっている。

▶17 の目標について（どう見ていくのか）

SDGs の 17 ゴール

社会問題系

1. 貧困を無くそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に

経済系

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられる街づくりを 12. つくる責任つかう責任

環境・基盤系

13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう 16.

平和と公正をすべての人に 17. パートナリシップで目標を達成しよう

※2030 年以降も新たな SDG s が予定されている（一過性ではない）

世界の投資家が SDG s に注目している。 => SDG s 対応が遅れると企業が淘汰される

○110 兆円運用のノルウェー年金基金は 77 企業から投資撤退。（日本の電力 5 社からも撤退）

○多くの投資家が、国連が定めた E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）に配慮した責任投資原則に署名済み

○企業誘致への影響が大きい <= E S G 投資は 3000 兆円との試算がある

※中小企業であっても、下請けで大企業とつながっている <=> 世界が求めている

PRI の 3 原則 責任ある投資の原則 (Principles for Responsible Investment)

①私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに E S G の課題を組み込みます

②私たちは、活動的な所有者になり、所有方針と所有課題に E S G 問題を組み入れます

③私たちは、投資対象の主体に対して E S G の課題について適切な開示を求めます

※E S G 投資と SDG s は不可分の関係にある

理解すべき SDG s の 5 つの特徴

普遍性：先進国を含め、すべての国が行動

包摂性：人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」=地球の全ての人への配慮

参画型：全人類が役割を担う

統合性：社会・経済・環境に総合的に取り組む

透明性：定期的にフォローアップ（国連総会時期にレビュー）

▶自治体における SDG s は

「持続可能な開発目標（SDG s）実施指針の概要」=17 の目標を行政的に 8 つの優先課題と具体的施策に整理したもので、社会問題系、経済系、環境・基盤系ごとにターゲットを設定し、具体的な目標を定めている。

ビジョン：「持続可能で強靱、そして キーワードである 誰一人取り残さない。経済、社会、環境の総合的向上実現
された未来への先駆者を目指す」

①あらゆる人々の活躍の推進

②健康・長寿の達成

③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、環境型社会

⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

⑦平和と安全・安心社会の実現

⑧SDG s 実施推進の体制と手段

▶自治体の政策や施策との関係は

SDG s 未来都市（60 都市）・モデル事業（20 都市）の取組み

①自治体の SDG s 推進のための取組み

②SDG s 達成に向けた事業の実施

※計画策定から事業実施まで、タスクフォースによる省庁の横断的支援が受けられる。